

爲三郎記念館特別企画

玄之会 選拔展

〈かなの美〉

2025.1.7^[火] ▶ 1.26^[日]

〈1/28～2/9は「メイゲイのコウゲイ2025」を展示〉

分館 爲三郎記念館

日本独自の文字「かな」は、男女の機微や自然の風情の細やかな描写を可能にし、和歌や物語をはじめとして、文学の可能性を様々に開花させてきました。かな文字は、同じ音でも使用する文字や大きさ、連綿を自在に変化させて空間に**唯一無二の世界創出し**、今なお、無限の可能性を秘めて私達を魅了し続けます。

本展では、長きにわたってかな書を研究してきた**玄之会**の書家たちの作品を紹介します。連綿が生み出す流れや墨の濃淡による構成と造形の妙、文字の素体の美しさなど、多様な作品から、流麗にして壮大、繊細さと力強さを併せ持つ

「かな」の**美しき世界**をお楽しみください。

■出品書家 18名

近藤浩乎

出清峯、村瀬俊彦、衣川彰人、小河史苑、加藤博子、覚前好美、久徳蓬香、芝崎玲華、永平巳旺子、西村桂楓、野村清涼、三浦清舟、村瀬季舟、笠井和子、長谷川翠流、光岡幸仙、山田有華

取材のお願い

平素は格別のご高配を賜りありがとうございます。

この度、古川美術館の分館 爲三郎記念館では、名古屋を代表するかな書家・近藤浩乎率いる玄之会の選拔書家の「かなの美」を展覽いたします。

「光る君へ」で一躍注目を浴び、ひそかなブームを巻き起こした「かな書」の、無限にして唯一無二の世界をご紹介します。

是非ご高覧賜りたくお願い申し上げます。

見どころ

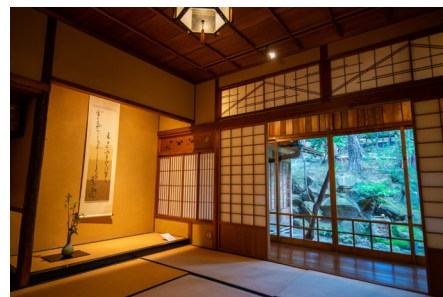
■多様な〈かな書〉の表現

美しい連綿(つながり)を堪能できる正統のかな、大字かなとよばれる大画面のかな書、放ち書きと呼ばれる文字そのものの面白さを追求する作品など、多様なかなの世界を展示。

■日本家屋、日本庭園と書を楽しむ

軸、屏風、額、帖などの書の作品を、伝統的な数寄屋建築・爲三郎記念館に展示し、日本庭園ともに書を楽しめます。

■出品作品 19点



問合せ 古川美術館 早川祥子

TEL 052-763-1991 s.asano@furukawa-museum.or.jp

愛知県名古屋市千種区池下町2-50 公益財団法人 古川知足会

【古川美術館】

2025 1.28 - 2.9



名古屋芸術大学

分館

爲三郎記念館

古川美術館
プロジェクト
メイゲイの
コウゲイ 2025

+ / - ?
! × & ÷

会場 爲三郎記念館

2022年より開始した、産学連携事業です
名古屋芸術大学の学生が、爲三郎記念館から
受けたインスピレーションを元に、ユニークな
作品を展示いたします。



広報写真 写真ご希望の方はご連絡ください

広報写真

近藤浩乎「百人一首屏風」四曲一双

